

# 教育だより

発行: 芦別市教育委員会学務課

☎0124-27-7586

目次	1面	中学校の統合について、みんなで拾おう！芦別クリーンDay
	2面	令和5年度芦別市における学校教育の重点について
	3面	令和5年度教育予算について
	4面	令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について

## 中学校の統合について

教育委員会では、児童生徒数が減少していることを踏まえ、次代を担う児童生徒の健全育成に向けてより良い教育環境を確保することを目的として「芦別市立小中学校の配置基準」の見直しを行い、小学校については当面、現在の2校体制を維持することとし、中学校については現在の2校から1校に統合することを決定しました。

中学校の統合時期については、令和3年度に、啓成中学校区、芦別中学校区ごとに開催した保護者や地域の皆さんとの説明会を経て、令和6年4月1日としました。

また、令和4年5月16日に、中学校の統合を円滑に進めるとともに、統合による教育環境の整備と教育の充実を図るため、各小中学校のPTA会長及び校長、各中学校区の学校運営協議会委員、青少年育成連絡協議会委員で構成された「芦別市立中学校統合準備委員会」を設置し、以降、令和5年2月21日まで5回にわたって、統合準備委員会を開催し、学校名は「芦別中学校」とし、校舎は「芦別中学校」の校舎を使用することを決定したほか、めざす生徒像、部活動等について議論を重ね、決定をしたところです。

令和5年度については、統合準備委員会で決定した内容を踏まえ、具体的な取組内容の実践に向け、中学校間で協議をするとともに、両小学校間・両中学校間の児童生徒による交流を深める取組を実施するほか、教育委員会においては、小中学校と連携を図りながら、円滑な統合に向けて取組を進めていきます。

なお、中学校の統合に当たっての取組内容等の詳細については、今後、広報あしべつ、ホームページ等でお知らせする予定です。

## みんなで拾おう！芦別クリーンDay

令和5年度で活動5年目となる本市のコミュニティ・スクール。新型コロナウイルス感染症の影響で何かと制約がある中、芦別中学校区では家庭学習強化週間（ファミスタウィーク）の設定、啓成中学校区では冬休み学習ボランティアや除雪ボランティアの実施など学校運営協議会が中心となり、今できることを考えて活動してきました。

現在は徐々にコロナ禍前の日常を取り戻しつつあることから、保護者や地域の皆さんのご協力をいただき、できることを増やしながらか、芦別を担う子どもたちのための活動に取り組んでいます。

芦別中学校区では、4月17日に毎年恒例となっている「芦別クリーンDay」を開催しました。子どもたちが登校時にごみ拾いをし、環境美化の意識と協調性を養うことをねらいとした活動です。



【↑芦別中学校の様子】

当日は雪が降るほどの悪天候ではありましたが、児童生徒はゴミ袋を手に元気に登校し、芦別小学校では6袋、芦別中学校では5袋分のゴミを回収しました。

今後もこのような活動を通して、芦別中学校区・啓成中学校区ともふるさとに愛着を持つ子どもの育成を目指し、コミュニティ・スクールの活動を推進していきますので、引き続き地域の方のご支援とご協力をお願いいたします。



【↑芦別小学校の様子】



### 学校支援ボランティアを募集しています

芦別市教育委員会では、スキーや柔道の授業、夏冬休み中の学習会の補助など、様々な場面で「学校支援ボランティア」に登録されている方々にご協力いただき、教育活動を行っています。

学校からの多様なニーズに応えるため、更なる学校支援ボランティアの募集を行っていますので、教育活動に係るボランティアに関心のある方は、教育委員会学務課へご連絡ください。

## 令和5年度芦別市における学校教育の重点について

本市では、毎年度、芦別市学校教育推進計画を策定し、この計画において4つの重点目標を掲げて学校教育活動に取り組んでいます。



### 学ぶ力の育成

**子ども一人ひとりが自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら解決するために必要な「学ぶ力」の育成を図ります。**

- ☆9年間の学びを通じた、系統性のある小中一貫教育の推進
- ☆小中学校統一した授業スタイル「芦別スタンダード」の定着による、授業改善や指導力の向上
- ☆小学校高学年における教科担任制により、専門性を高めた授業の取組の推進
- ☆学習サポート教員、特別支援教育学習支援員の配置による習熟度別指導や個別指導の充実
- ☆デジタルドリルなどの学習支援ツール（ナビマ※3面に記載）を導入し、1人1台端末を活用した学習の推進
- ☆家庭と連携し、家庭学習の習慣化と定着化への取組の推進

### 豊かな心の育成

**子ども一人ひとりの人格のより良い発達を促すため、生命を大切にする心や他を思いやる心など、「豊かな心」の育成を図ります。**

- ☆「考え、議論する」道徳授業の充実
- ☆炭鉄港や木育など、地域にある教育的資源を積極的に活用し、郷土に愛着を持つ子どもを育成するふるさと教育の推進
- ☆いじめ根絶に向けた取組や、不登校児童生徒への支援の充実
- ☆朝読書や読み聞かせなど、読書意欲の向上や読書の楽しさを実感する取組の推進



### 健やかな身体の育成

**家庭や関係機関と連携しながら子ども一人ひとりが生涯を通じて運動に親しみ、積極的に心身の健康の保持増進を目指す能力の育成を図ります。**

- ☆「一校一実践」による学校の特色を生かした体力向上に向けた取組の推進
- ☆「早寝 早起き 朝ごはん」運動などによる望ましい生活習慣の定着を図る取組の充実
- ☆感染症についての正しい理解と感染予防の徹底
- ☆市の保健師や関係機関の協力による健康教育の充実
- ☆栄養教諭による食育指導の推進

### 地域に開かれた信頼される学校づくりの推進

**学校、家庭、地域の三者が情報を共有し、より一層信頼される学校づくりを目指します。**

- ☆コミュニティ・スクールを活用した保護者や地域住民の学校運営への参画、協働体制の確立
- ☆学校だよりや教育だよりなどを通じた学校運営や教育活動の情報の共有化
- ☆保護者アンケートや学校運営協議会学校関係者評価部会の評価に基づく、学校経営の改善

## 令和5年度教育予算について

本市の教育予算は、学校教育の充実や学力向上など、様々な取組を行い、子どもたちがより良い教育環境の中で学校生活を送れるよう必要な予算となっています。

今年度実施する事業とその予算について、その一部を紹介します。

### ○スクールバス購入事業（2,073万円）

中学校統合による新規路線分のバス購入費など。

### ○中学校施設整備事業（2,337万円）

中学校統合に伴うトイレの整備など。

### ○地域とともにある学校づくり推進事業（56万円）

コミュニティ・スクールに関わる運営費など。

### ○外国語教育推進事業（1,074万円）

小中学校に1名ずつ配置している外国語指導助手に関わる経費など。

### ○文化・体育活動振興事業（258万円）

音楽発表会、芸術鑑賞会などの開催委託や、各種中体連の出場補助金に係る経費など。

### ○学力向上等事業（1,696万円）

英語検定などの検定料助成、デジタルドリル「ナビマ」導入に係る経費など。

### ○特別支援教育推進事業（3,874万円）

各学校に配置している学習支援員及び特別支援学級補助員の経費など。

### ○就学援助事業（567万円）

経済的理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対して支給する学用品費の経費など。

### ○情報化教育推進事業（1,041万円）

ICT支援員の配置や、小中学校に配置しているコンピュータ機器の保守などに係る経費など。



### 【デジタルドリル「ナビマ」の導入について】

これまで、児童生徒の学力向上の一環として、紙媒体でのドリルを購入していましたが、令和5年度より1人1台タブレット端末を活用したデジタル学習サービス「ナビマ」を導入します。

「ナビマ」とは、動画等の解説によるサポート機能や、児童生徒一人ひとりの理解度等に合わせて問題が出題されるマイドリル、自らの意見を発信し、クラスメイトの考えを確認してより学びを深めることができる学び合いツールで構成されています。教科は国語、算数・数学、社会、理科、英語の5教科となっています。

また、児童生徒の習熟度や学習状況を問題別、個人別に確認することも可能となります。



### 保護者・地域の皆さまへ

教育だよりは、本市の学校教育の現状や課題、さまざまな施策や取組などを広く市民の皆さんに知っていただき、情報を共有するため年3回発行しています。

本市の学校教育の向上に関するご意見を「郵送」、「ファックス」、「電子メール」（様式自由）にてお寄せください。

【送付先】〒075-8711 芦別市北1条東1丁目3番地 芦別市教育委員会学務課学校教育係

【電話】0124-27-7586 【ファックス】0124-22-9696

【電子メール】gakumu@city.ashibetsu.hokkaido.jp

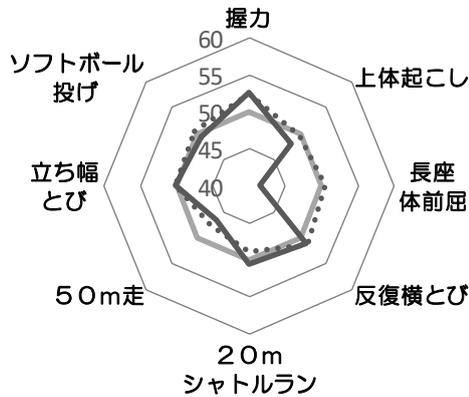
## 令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について

この調査は文部科学省が子どもの体力の状況を把握・分析することなどを目的に、全国の小学校5年生・中学校2年生を対象に実施しているものです。本市でも昨年の4月から7月にかけて実施しました。この調査の結果を踏まえ、今年度も子どもたちの体力向上に向け様々な取組を行います。結果の詳細については、市の公式ホームページにも掲載していますので、是非ご覧ください。

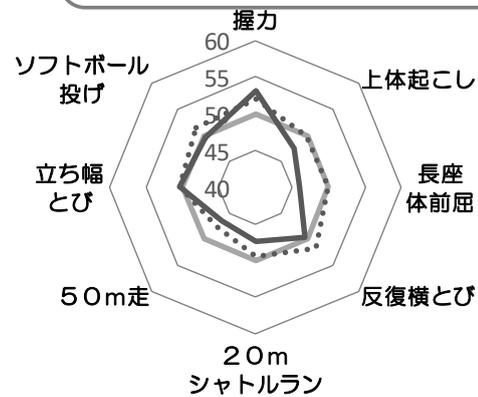
グラフは、全国を50とした場合の、北海道及び芦別市の数値を示したものです。

— 芦別市    ..... 北海道    —— 全国

小学生男子



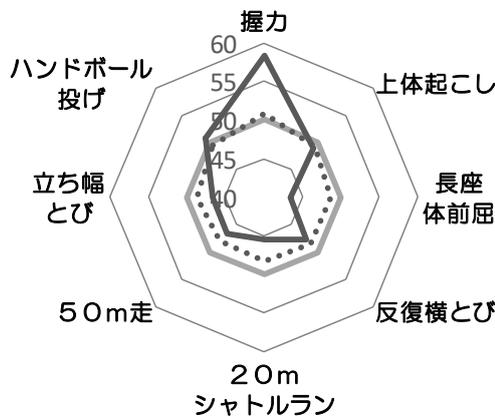
小学生女子



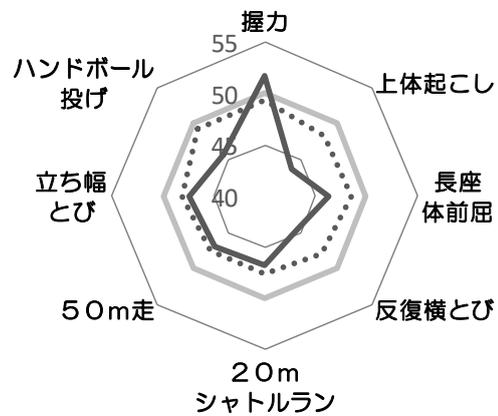
男子は「握力」「反復横とび」「20mシャトルラン」「立ち幅とび」で、女子は「握力」「立ち幅とび」で全国平均を上回っていますが、「長座体前屈」が男女とも全国平均を大きく下回っていることから、柔軟性に課題があると言えます。

— 芦別市    ..... 北海道    —— 全国

中学生男子



中学生女子



男女ともに「握力」は全国平均を上回っていますが、「反復横とび」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅とび」の4種目で全国平均を大きく下回っていることから、持久力などに課題があると言えます。

調査結果は以上のとおりですが、同時に実施された運動習慣調査の児童生徒質問紙を見ると、「体育以外の土日の運動時間」が全国・全道と比べて少なくなっていることが影響していると思われるかもしれません。ご家庭でも今一度、土日の過ごし方について見直してみましょう。



### 芦別市の体力向上に向けた取組



これらの結果を受けて、教育委員会では以下のような取組を実施しています。

- ★「早寝早起き朝ごはん」運動など、家庭と連携した「望ましい生活習慣」の定着
- ★縄跳びを活用した体力づくりなど「一校一実践」の取組による運動能力の向上
- ★各種スポーツ教室やスポーツイベントへの積極的な参加